

期 中 の 評 価 個 表

整 理 番 号	1-1
---------	-----

事業名	民有林治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	北海道
事業実施地区名	藤崎の沢(ふじさきのさわ)	事業計画期間	平成12年度～平成27年度(16年間)
関係市町村名	むかわ町	事業実施主体	北海道
事業の概要・目的	<p>当地区は、北海道胆振管内を流れる1級河川鶴川支流穂別川の左岸側に位置しており、平成10年8月に山腹崩壊が発生し、それにより直下の地すべり滑動が活発化した。</p> <p>このため、平成11年度に地すべり区域の調査を実施した結果、継続的な地すべり滑動の挙動及び隣接地における過去の地すべり滑動によって土砂が穂別川まで流出した痕跡が確認され、当該地区の地すべり災害の危険性が指摘された。</p> <p>今後、大雨等による更なる地すべり滑動が活発化した場合、斜面直下にある人家・農地への大量の土砂流出や、穂別川への土砂流出による土石流発生により、下流域の人家、町道、農地等に甚大な被害を及ぼす恐れがあり、早急な対応が必要となったことから、平成12年度より地すべり防止事業に着手した。</p> <p>・主な事業内容：護岸工 L=370m 土留工 L=82m 集水井工 6基(69.5m) 暗渠工 L=11,335.5m 水路工 L=1558m 排土工 V=22,449m³</p> <p>・総事業費：1,081,455千円(平成17年度評価時点1,078,000千円)</p>		
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>当事業の費用対効果分析における主な効果は、山地災害防止便益であり、集水井、暗渠工(集水ボーリング)及び護岸工等の施工により、地すべりを防止し、下流の人家・農地(農業施設)・町道等を山地災害から保全する効果である。また、現在は保全対象に特段の変化は見られない。</p> <p>平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益(B) 1,595,523千円(平成17年度評価時点：1,436,055千円) 総費用(C) 1,174,353千円(平成17年度評価時点：895,730千円)</p> <p>分析結果(B/C) 1.36 (平成17年度評価時点：1.60)</p>		
森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>事業着手時と現在の保全対象に特段の変化は見られない。</p> <p>集水井工・暗渠工等の対策工により、順調に地すべりブロックの安定が保たれており、人家、農地等の保全、町道の通行の安全が確保される等、事業効果が順調に発現している。</p> <p>・主な保全対象 人家55戸、町道250m、農地10.5ha 等</p>		
事業の進捗状況	<p>当地区における地すべり対策工は、地下水等を排除することにより地すべり滑動を抑制することを目的として、地下水排除工を主体に実施しており、平成22年度末までに、集水井工、暗渠工の整備が完了し、事業進捗率は53.7%となっており、当初の予定どおり平成27年度に完成する見込みである。</p> <p>また、未整備となっている地すべりブロックについては、継続的な滑動が観測されるなど、事業の必要性に変化はなく、引き続き地すべり斜面の安定化を図ることを目的に事業を推進する。</p>		
関連事業の整備状況	<p>関連事業は特になし。</p>		

整理番号	1-2
------	-----

<p>地元（受益者、地方公共団体等）の意向</p>	<p>事業着手時から毎年、地すべり対策に関する地域住民の要望を受け、むかわ町役場より施行要望書が提出されている。</p>
<p>事業コスト縮等の可能性</p>	<p>頭部排土工の導入により、末端部に設置する土留工の規模を縮小するなどコスト縮減に取り組んでおり、今後も可能な限りコスト縮減にむけて事業を実施する。</p>
<p>代替案の実現可能性</p>	<p>地すべり区域の調査を行った結果から、最も効果的な工法を採用していることから、代替案はない。</p>
<p>評価結果及び事業の実施方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地すべり区域の調査の結果、滑動は沈静化しつつあるが依然として継続的な地すべりを観測している。放置した場合、今後の大雨等による更なる地すべり滑動の活発化により、保全対象である人家、農地への大量の土砂流出や、1級河川穂別川への土砂流出による土石流発生の恐れがあり、穂別川下流域の人家・農地（農業施設）・町道・橋梁等に甚大な被害を及ぼすおそれがあることから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 地すべり対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努めており、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 事業実施により、順調に地すべりブロックの安定が図られつつあり、地すべりブロックの安定により人家、農地（農業施設）、町道等の通行の安全を確保が見込まれることから、事業の有効性が認められる。 ・ 事業の実施方針： 事業を継続する。

整理番号

1

便 益 集 計 表
(治 山 事 業)

事業名：地すべり防止

北海道

施行箇所：藤崎の沢

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	1,595,523	
総 便 益 (B)		1,595,523	
総 費 用 (C)		1,174,353	千円
費用便益費	$B \div C = \frac{1,595,523}{1,174,353} = 1.36$		

評価箇所概要図

整理番号	1
------	---

北海道

事業名	民有林治山事業(地すべり防止)	地区名	藤崎の沢
-----	-----------------	-----	------

